

市民学コース ⑥ 富士見の歴史

中世から 現代までの「富士見市の民俗芸能」の歴史

第2回 埼玉県の民俗芸能 ② 神楽

平成 29 年 6 月 17 日(土) 10 時～12 時 鶴瀬公民館

講師 元埼玉県立博物館 学芸員 齋藤修平氏

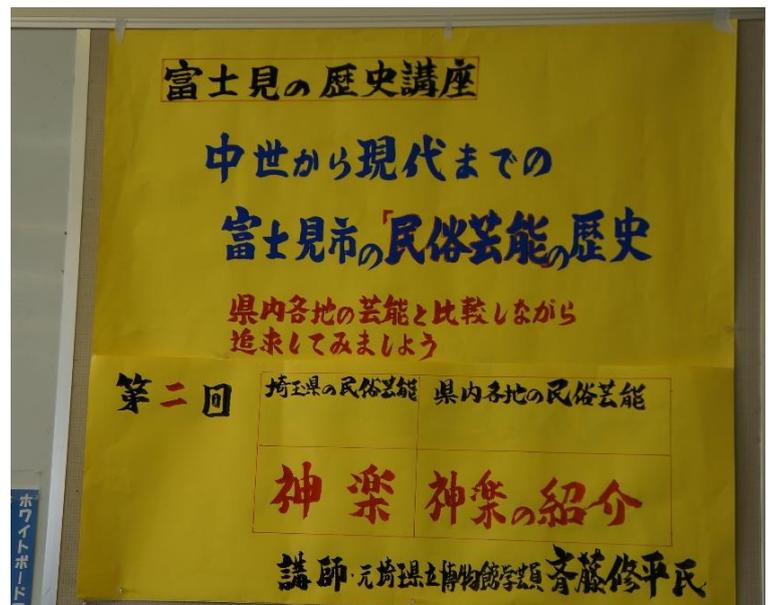


第 40 期・富士見の歴史講座が 6 月 17 日（土）鶴瀬公民館で行われました。

48 名の受講生の中、32 名の方が出席されました。元、埼玉県立博物館の学芸員「齋藤修平氏」を講師にお迎えし、2 時間にわたり、埼玉県内各地の民俗芸能、神楽の紹介をしていただきました。80 ほどの神楽舞の面をスナップで拝見させていただきましたが、一つとして同じものはないとの事でした。

また、神楽・獅子舞・まつり囃子にあっても政治的なものが背景にあるとのお話でした。神楽の楽しみ方、神楽社中という組織、保存会組織、サークル化の流れがあり、演目も多様であり「古事記」を読みながら鑑賞する。

神楽と神楽の面、神楽の舞と踊り、神楽の現代と危機等について勉強させていただきました。面をつけての舞をスナップで記載させていただきます。





講座資料

神楽のレッスン講座

01 : 太々神楽、神代神楽、里神楽

02 : 神楽の多様性と関東の神楽

03 : 神楽の物語と古事記

04 : 神楽と神楽面

05 : 神楽の舞と踊り

06 : 神楽の現代と危機

07 : 神楽散歩のご案内

神楽を学ぶ講座

10:00から12:00

2017・6・17

鶴瀬公民館（戸塚さん窓口）

話題提供 斎藤修平

001：神楽にあっても、獅子舞にあっても、祭り囃子にあっても、政治的なものが背景にある。

002：クールジャパンの中で見直される芸能、日本文化は、少し警戒感が必要。

003：神楽の楽しみ方（二種類の継承団体がある）

004：関東神楽もそれぞれ多様だ。

005：神楽社中という組織、保存会という組織、サークル化の流れがある。

006：演目が多様。全ての演目を古事記を読みながら鑑賞しましょう。

007：神楽面が多様、神楽面を追いかけましょう。

008：写真撮影、ビデオ撮影もいいけれど、どっしり見よう。